

令和7年度シラバス

教科	科目	単位数	履修学年・クラス
国語	国語演習	2	3-4、3-5～3-7（文系）

1. 学習の到達目標

- ・豊富な語彙を身に着けることによって、適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高める。
- ・言語感覚を磨くことで思考力や想像力を伸ばし、他を慮る心を養い、人権に対する意識を高める。
- ・言語活動をとおして実践的に学習することによって進んで表現する姿勢を身につけ、国語力の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

2. 学習の計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1 学 期	問題集による演習 確認テスト 言葉と表記 仮名遣い 送り仮名 漢字 慣用表現 整った文を書く 係り受けを整える 文末表現の統一	・文章において、誰かに何かを書いて伝える場合、より正確に、わかりやすく伝えるためにはどのようなことに気を付けたらよいか、書き方の基本を学ぶ。
2 学 期	問題集による演習 確認テスト 相手に応じた言葉遣い 和語・漢語・外来語 話し言葉と書き言葉 敬語を使い分ける わかりやすい文を書く 長すぎる分を短文に 読点を効果的に使う あいまいな文を避ける	・知識を定着させ、自己の思いをことばで正しく表現できる応用力を身につける。 ・語彙を豊かにし、進んで表現する姿勢を身につける。 ・相手を尊重し、場面、状況に応じた会話を身につける。
3 学 期	文のつながり方 接続表現をつなぐ 文脈でつなぐ	・社会生活において国語力を発揮する場面を考察する。

3. 評価方法・評価の観点

評価方法	定期テスト、提出物、授業態度等による。
------	---------------------

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解し、言葉や表記の大切さを理解しているか。	「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を正確に描写したり説明したりするための言葉と表記を正確に判断して、表現の仕方を工夫しているか。	正しい表記や語彙を豊かにすることについて積極的に取り組もうとしているか。

4. 使用教科書・副教材

使用教科書	基礎からはじめる 国語の表現トレーニングノート（大修館書店）
副教材	なし